

「楽しい&エコ」な暮らし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

# えこびと

第5号 2011秋

いとうのぶひこ  
特集：井藤伸比古さんインタビュー  
(自称「もった博士」の一番弟子)

定番コーナーも、興味深いですよ～♪

とよたのまちネタ紹介  
エコメン、み～つけたっ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す  
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトびとが発行しています

## もった博士の一番弟子！

### 特集：井藤伸比古さんインタビュー

7月の第3回総会に合わせて開催した、大人向け学習会。みんなで大いに実験を楽しみました。でも、伝えきれなかったことも多かった気がします。そこで、講師を務めていただいた井藤さんへのインタビューを通して、再度『大事なところ』を掘り下げてみました。

Q：先日は、素敵なお勉強会をありがとうございました。はじめに、学習会で井藤さんがもっとも伝えたかったことを教えてください。

井藤：「学び」には、二つの種類があると思う。

僕の言葉でいうと、それは「技術」と「科学」。

「技術」とは、読み・書き・そろばんのように、くりかえし練習して身につけるもの。「科学」とは、疑問に思う心を出発点にして、自分で考えて、検証して、発見（獲得）していくもの。目的もやり方も違うけれど、どちらも大事。

僕や河合良一さんが担当するときの「もった博士のかかく倶楽部（以下、もった）」は、「科学」を学ぶ。宮本さんや山口さんが担当するときには、主に「技術」を学ぶ。ともに学ぶ楽しさを感じてもらいたいと思っている。



Q：「もった」にかける思いを教えてください。

井藤：eco-T の施設（箱モノ）ができると知ったとき、活用しなきゃ「もったいない」と思った。それで、オープン前の市民参画メンバーに加わった。次に、たくさんのインタープリターのみなさんに出会った。みんな、経歴もいろいろで面白い。一緒にいると勉強になる。人こそ、最大の財産。この人たちと学び合えなきゃ「もった

いない」と思った。この「もったいない」が「もった博士」の語源。

「びっくり実験」なら、巷にもいろいろあるが、それらと「もった」とは、ねらいが違う。「もった」は実験しながら、じっくり「科学」を学ぶ場。手軽さを求めない。だから2時間かかるし、参加者が多ければいいとは考えない。eco-Tにしかない、最高の「学びの場」をみんなで作っていききたい。



7/16 (土)、大人向け学習会の様子

今、eco-T で「もった」をやっていて、メンバーの大人どうしの学び合いが、とても楽しい。常連の子どもたちもレベルが高くて、一緒に学び合っている。

Q:「学ぶことを“面白い”と感じられる人は幸せだなあ」と思う。eco-T などを通して、そういう感性を持った子どもたちを育てたい。

井藤: 学ぶことの「楽しさ」には、二つの面がある。一つは、学ぶ本人の視野が広がるという、個人的なもの。もう一つは、自分の成果がみんなに広がって、それがうれしいという社会的なもの。

子どもたちに楽しく学んでもらおうと思うなら、レベルを上げればよい。答えがすぐにわかるよりも、考えて、実験して、やっと納得できるもの。それが楽しい。eco-T は「環境学習」施設。環境の学習は難しい。でも、だからこそ、楽しく学べると思う。

Q: 学ぶ場をつくる(=講座を開く)ときに、心がけていることは?

井藤: すぐ「答え」を言ったり、説明をしてはダメ。もったいない。教える側も一緒に楽しむのがいい。「あなたは思う? なんて

そう思うの？」と、みんなに聞きながら。例えば、子どもから「月はどうして欠けるの？」と聞かれたら、どう返すのがいいか、考えてみて欲しい。答え（知識）を教えるのは簡単だけど、「知識は3日の命」。知識じゃない、自分でつかんだものは、一生モノ。

それから、講座の準備や練習には、じっくり時間をかける。どう組み立てたら、楽しく、体系的に進められるか。その上で本番に臨んで、また改善して、次の機会に臨む。

参加者は、10人とか15人くらいがいい。この人数ならコミュニケーションしながら、みんなで一つになって進められる。参加者が多すぎる場合は、事前にプチ先生の養成講座をやるといい。

Q：今後、「もった」でやってみたいことは？

井藤：大人向けの社会科、歴史とかをやってみたい。もちろん「科学」なので、イデオロギー争いではなく、事実に基づいた、検証できる内容。例えば、女の子の名前で「〇〇子」というふうに「子がつく名前」の割合がどう変わってきたかを考えてみる、とか。明治以降ならデータがある。これを通じて、時代の追体験ができるはず。

それから、年間メンバーを募集して、積み重ねていくようなシリーズもやってみたい。現在のように毎回、初参加を想定していると、積み重ねがないのが残念。

Q：もった博士チームのような「学び合いの輪」が生まれるには、どうすればいい？

井藤：eco-Tでは、手芸チームやクッキングなど、「学び合いの輪」がたくさん生まれている。ときにはワーキンググループ同士の交流もあると、刺激になっていいかもしれない。

Q：私たちは「技術」の詰め込み教育を受けてきたように思う。

井藤：日本の教育は戦後、「技術」の詰め込みでやってきた。先進国に「追いつく」までの高度成長期は、それでうまくいった。現在は、

「追いついた後」どうするかという時代。新しいものを生み出すには「科学」が必要。

ひとくちに「技術」といっても、その中には「科学を伴った技術」もある。例えば、プリウスをつくったトヨタ自動車の「技術」には、「科学」が伴っていると思う。私たち「もったチーム」は、そんな「技術」と「科学」とをつなげて、市民・子どもたちに伝承していくことをめざしている。

(会員突撃インタビューチーム：野武審・岩月桂子・小泉達也)

井藤伸比古 (いとうのびひこ) さん

小学校教諭を務める傍ら、2005年ごろから環境学習施設 eco-T (エコット) の基本構想づくりに参画、人力発電機の構想をまとめ実現。eco-T オープン後は、親子向け講座「もった博士のかがかく倶楽部」を企画し、メンバーと一緒に毎月1回講座を開催。

\*\*\*      \*\*\*      \*\*\*      \*\*\*      \*\*\*      \*\*\*

### 第3回総会を開催しました♪

7月16日(土)の午後、私たち「とよたエコ人プロジェクト」の第3回総会を開催しました。年に1回、このような機会があって、自分たちの1年間の活動を整理して発表し、新たな一歩を踏み出すというのは「とっても大事」だなあ、と改めて感じました。

新理事2名が加わり、役員は理事10名、監事1名となりました。



これから2年間、この顔触れで進めていきますので、みなさまよろしくお願ひします。  
(小泉達也)

## 3回目の「こどもがつくるこどものまち」

### エコットキッズタウンを開催しました♪

3回目を迎えた今年のエコットキッズタウンは、豊田産業文化センターを会場に、8月2日（火）～4日（木）の3日間の開催でした。eco-T 以外の会場では、初めての開催。これまでなら資材を準備する人手も、資材の保管場所もありましたが、今回は会場下見、搬入、搬出という作業が必要でした。

でも、まちなかで交通の便が良いこと、同センター内で夏休み子ども向けイベントがあることなどのせいも、今回も大勢の子どもたちが参加してくれました。2日目には入場制限をするほどになりました。



今年新しく開設した職場は、身体測定などをする「保健センター」と、銀行から独立した納税の場「税務署」の2つ。参加対象（小1～中3）の子どもについてきた園児が住民になるための練習の場、「学園」の仕事には、今年は男の子も就いてくれました。「学園」の卒業生が体験する仕事として用意したのは、eco-T で進めているグリーンカーテンに習い、貼り絵のアサガオのグリーンカーテンづくり。これを2本も完成してくれて、タウンの入り口を飾ることができました。

また、商店街への出店は大人気。タウンのオープン前から、自分で工夫してきたもので店を出したい子どもたちが並ぶ光景もあり、限られた商店街スペースをどうしていくかが、次の課題になりそうです。

3日間でタウンの住民になった子どもたちは635名、のべ来場者は962名でした。「オープニングの積み木のナイアガラにドキドキした」、「こういうのが昔あったら、私もやりたかったな」というお母さんの声もありました。子どもたちの生き生きと、くるくると、よく動く姿もいっぱい見られました。

保護者の皆様のご理解、ボランティアスタッフの良きフットワーク、eco-T事務局のアドバイス、すべてに感謝です。 （長嶋一枝）



# 「農業に夢と誇りを！」夢農人とよた、発足1年

## とよたのまちネタ紹介 第4回

「農業に夢と誇りを！」を掲げ、豊田市周辺域の若手農家の集まりである「夢農人（ゆめノート）とよた」が活動を始めてから9月で丸一年を迎えました。当初は3人の農家からのスタートでしたが、現在23の農業に夢と誇りを持って仕事をしている農家が参加しています。

豊田市は工業の町と思われがちですが、少し目を向ければ田畑があちこちにある自然豊かな町で、全国的に見ても農業の盛んな地域です。しかし地元の人でさえ、豊田市に品質の良い農作物があることを知りません。

夢農人とよたは、この地域の農業の持つ魅力・素晴らしさを知っていただくためにブログやホームページを使って日々の仕事を公開したり、対面販売を通して消費者の方々の声を直接聞くことが出来る軽トラ



市を行い、農家同士のコラボレーション商品の開発を進めています。さらに地元飲食店での取り扱いを増やしていくことで地産地食を進めたりと数多くの農家がいるからこそ出来る活動が広がっています。

今、日本の農業は「きつい・きたない・かっこ悪い・結婚できない・稼げない」などの「5K 産業」と言われ、農家の子どもたちでさえ、苦労している親の背中を見て農業を敬遠し、その結果、就農をせず、サラリーマンになる人が多いのが現状です。そんな中、20~40歳代の「若手」と呼ばれる農家は全農業人口の1%ほどしかいません。



そんな状況を変えていきたい。将来の農業を担う子どもたちに農業の持てる夢や誇りの可能性を伸ばしていこうと、日々活動しています。

まずは地元農産物を知ってもらうため、スタジアムでのイベントや、豊田市駅のすぐ近くにある総合商業施設「コモ・スクエア」への出店、ガーデニングフェスタでの苗・花農家の出店、商店街で行われている八日市への出店などをしてきました。一年が経った今では、出店するたびにお客様から声を掛けていただくことも増えてきています。

そして今年の10月26日(水)～11月1日(火)には、今年10周年を迎える松坂屋豊田店で行われる「まるごと豊田物産展」への参加が決まっています。生産者自身が作った数々の農産物や加工品、地元の飲食店や洋菓子店協力のもと、地元農産物を使った商品を1週間にわたって1階催事場で販売する予定です。

出店のたびに「生産することと販売することの違い」を痛感し、消費者の声を直接聞き、生産に活かしてきたメンバーたち。農作物を知り尽くしたプロだからこそその逸品を、是非楽しんでください。

皆様のお越しをお待ちしております。

(鈴木悠生：夢農人とよた事務局)



夢農人とよた WEB サイト <http://yume-note.com/>  
次回出店予定 10/26(水)～11/1(火) 松坂屋豊田店にて

## 「自ら選び抜く力」を大切に！

エコメン（エコなイケメン）、み〜つけたっ（第4回）



今回のエコメン♪

**深見 太一さん**

豊田市立中山小学校

5年生担任

### 1年経っても間違えます…

瀬戸市から豊田市に引っ越してきましたが、ごみ分別の違いに戸惑っています。いまだに奥さんに間違いを指摘されます・・・(笑)。

胸を張って言えるほどのエコ活動はしていませんが、環境についての情報をたくさん吸収し、その情報を子どもたちに伝えることを大切にしています！ 子どもたちには、たくさんの情報の中から「選び抜く力」を身につけていてもらいたいです。

### キャップでヒーロー！？

2年前に、同じ4年生を受け持った先生といっしょに環境学習の一環で、ペットボトルキャップの収集をしました。「800 個のキャップを植木の苗木に変えることができる」という、わかりやすい目的と、身近にあるものということで子どもたちは一生懸命取り組んでくれました。袋いっぱいに持ってきた子は、たちまちクラスのヒーローです！（笑） 集めた数は約 80,000 個、苗木に換算すると約 100 本でした。この年の環境学習での学びは、6年生になった今



でも学校内で生きていますよ。

## ウクレレ始めました♪

趣味は多すぎて困っているんですが、最近ハマっているのはウクレレです。ピアノもギターも弾けないし、歌も下手なので、教師として何かひとつ楽器を身につけたいと思っていたところ、楽器屋さんで出会ったのがウクレレ。いつか子どもたちの前でお披露目できるようにがんばっています♪

## 被災地へ行って・・・

宮城県石巻市に災害ボランティアに行ってきました。現地に着いてまず感じたのは、ボランティアの人の多さです。中には仕事を辞めて来ている人もいました。地元の方からとても感謝されていて、ボランティアの力はとても大きいのだと改めて感じました。

避難所では、ふとんを干すための十分なスペースがなくダニ、カビがたくさん発生してしまうそうで、「ダニバスターズ」というチームに入って掃除をさせてもらうこともありました。

いまは、このボランティアを通して出会った仲間と、チャリティー講演会を計画しています。これからも復興支援に関わっていきたいし、子どもたちにもこの経験を伝えていきたいと思っています。

(エコメンチーム：栗野理絵、長嶋一枝)

### 深見さん主催 チャリティー講演会

#### 『被災地の今 これからの復興支援』のお知らせ

日時：2011年11月26日(土) 14～16時

会場：パーティセと市民交流センター

講師：加藤 秀視 氏

協力金：2,000円

お申込み・お問合せ

MAIL：taichi007rown@hotmail.co.jp まで

取材を終えて・・・

「子どもはすごく純粋です」と目を輝かせお話してくださった深見さん。子どもたちの興味関心を高めるための授業作りを楽しんでいらっしゃるのが伝わってきました。

## 愛知学泉大学の学生2人が eco-T を体験

### インターン生による活動レポート♪

地元の大学生が8～9月に eco-T で、講座やイベントの手伝い、会議への参加と記録の作成などを体験しました。「eco-T でインターンをして感じたこと、発見したこと」というテーマで、レポートを寄せてもらいました。

eco-T と小学校の先生との意見交換会に参加させてもらいました。eco-T の活動にどんなものがあり、何を目的としているのかということも知ることができたので良かったです。

意見交換会では、小学校の先生方の児童に対する強い想いが伝わってきました。児童のことを話す先生方は本当に楽しそうで、第一に児童のことを考えているんだなと思いました。私自身、大学で教職の勉強をしているので、このような意見交換会はとても良い刺激となり、教師という仕事について色々考える機会となりました。小学校と高校では違うかもしれませんが、教師の魅力なども感じました。

eco-T の活動をしていくうえで一番重要となってくるのが学校との連携だと、私は思いました。これからのインターンでは、小学生の見学会に是非参加したいです。 (経営学部3年 伊藤真依)

見学に行った藤前干潟の活動センターで、海へ流れ出たごみで被害を受けた動物の写真等を見学しました。浜辺で回収されたごみは水分が多く、焼却に多くの費用がかかる事、新聞やニュースでしか知らなかった事を実際に見学し、ごみや環境について改めて考え直しました。

もった博士のかがかく倶楽部では、講義とドライアイスを使ってアイスクリームを作る実験をしました。普段、節電等に心掛けていますが、1日に使用する電気量はあまり注意していませんでした。

エコットクッキングでは、片付けの際に使用した石鹸は廃食用油から作られており、たわしはアクリルで、あまり石鹸を使わずに洗う事ができ、工夫がされていました。

eco-T では、地域のボランティアの方が活動されています。地域の方と学生、講座やイベントの参加者がコミュニケーションをとる機会となり、皆でごみや環境について考え、行動する事のできる、とても良い施設だと感じました。 (経営学部2年 富川裕香)

## ●主な活動記録一覧（7/1～9/30）

### 7月

- 8日 eco-T 運営会議
- 8日 eco-T「緑のカーテン」大幅手入れ
- 16日 かえっこバザール開催（井郷交流館サマーフェスタにて）
- 16日 第3回通常総会  
学習会「～地域の力を活かす～学び合うコミュニティづくり」
- 29日 エコカ<sup>りよ</sup>アップ講座第1回（猿投&益富交流館、～11月）

### 8月

- 2日 エコットキッズタウン2011（産業文化センター、～4日）
- 6日 イオン高橋店夏休み子どもイベント（廃油せっけんづくり）
- 12日 eco-T 運営会議
- 23日 暮らしの環境学習推進事業 先生との意見交換会
- 24日 第27回（2011年度3回）理事会
- 25日 とよたエコドライブプロジェクト実行委員会
- 31日 eco-T「緑のカーテン」台風に備えてネット降ろし

### 9月

- 5日 eco-T「緑のカーテン」再設置
- 9日 eco-T 運営会議
- 18日 かえっこバザール in ナゴヤハウジングセンター豊田会場
- 20日 eco-T「緑のカーテン」台風に備えてネット降ろし（2度目）
- 24日 インタープリター&スタッフ研修  
「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」等 視察
- 27日 第28回（2011年度4回）理事会
- 29日 豊田市職員研修「市民活動を知る」 講師派遣

## 『Make a CHANGE Day』関連企画

### 今年も、「飲食店でのエコなつづやき」を募集します♪

『Make a CHANGE Day』は1年に1日、全国各地で一斉にボランティア・市民活動を行う日のこと。今年は10月22日(土)です。一人ひとりの一歩を集めて、社会を変える力を創り出しましょう。

#### やってみよう♪アクション 「飲食店でエコつづやき隊」

飲食店で見かける「お客様アンケート」の記入用紙。これを使って、エコを広げてみよう♪という“アクション”です。お店で食事をして、次のことをアンケート用紙に書いてみましょう。

スーパーなどで買い物をするときの「つづやき」もOKです。

- お店がすでにやっているエコなことを見つけて「ほめる」
- 取り組んで欲しいエコなことを「提案する」

どんなことを「つづやいた」か、ぜひ、エコ人まで送ってください。

Eメール [info@t-ecobito.jp](mailto:info@t-ecobito.jp)、FAX 0565-42-2805

ちなみに昨年度は、次のような「つづやき」(?)が集まりました。


パン屋さんで、**レジ袋をお断り**したら、代金を少し値引きしてくれました♪

スターバックスでつづやいてきました。いつも笑顔の「いらっしゃいませ」があって、うれしいこと。ホットコーヒーはマグカップに入れてくれるので、うれしい。だけど、**アイスは、プラカップに入っている**ので何でかなあ？ **割れてしまう**からかなあ？・・・って書いてきました。

飲食店ではありませんが、スーパーで「**海のエコラベルのついたお魚、置いてありますか？**」と聞いてみてください。

消費者がこのマークの商品をまず知ることが大切です。漁業関係者のせっかくの頑張り、そして英断をもって販売をしている流通業者、小売店の意気込みを応援していきたいと思えます。

## ●おすすめイベントの紹介&参加者募集（10～12月）

日時	内容など
10月23日（日） 10:00～17:00	<p><b>あすけ夢里まつり</b></p> <p>「あすけ夢里まつり」は、日々の生活に「夢」ある仲間たちが手がける、ものづくりを中心にすえた暮らしの「まつり」。近郊の畑で丁寧につくられた食材、衣食住のための清らかな品々、豊かな自然とともに奏でる音楽や、ワークショップ。豊田・足助に宿る一日だけの「夢の里」。秋の小旅行もかねて、ぜひお越しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●場所：豊田市足助町 三州足助屋敷前広場</li> <li>●内容：手づくり市、ワークショップ・実演・展示、ライブ・野良着ファッションショー</li> <li>●主催：あすけ夢里まつり実行委員会</li> <li>●問合せ：satomintnya@hotmail.com</li> </ul> <p>※詳細は下記「あすけ夢里まつりホームページ」をご覧ください。 <a href="http://www7.plala.or.jp/yumesato/">http://www7.plala.or.jp/yumesato/</a></p>
12月4日（日） 10:30～12:00	<p><b>「緑のカーテン」報告会&amp;意見交換会</b></p> <p>eco-Tで試行した「緑のカーテン」の報告と「緑のカーテン」についての意見交換、タネの配布（交換）などを予定しています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●場所：とよた市民活動センター 小ホール</li> <li>●問合せ・申込み（下記のEメールが電話で） info@t-ecobito.jp、090-2408-2221（担当：小泉）</li> </ul> 
12月8日（木） 12月13日（火） 12月22日（木） 1月19日（木） 1月26日（木） 2月9日（木）	<p><b>展示解説ボランティア育成講座</b></p> <p><b>「eco-Tのインタープリターになってエコライフを広げよう！」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●場所：豊田市環境学習施設 eco-T（12/13のみ、トヨタの森）</li> <li>●対象：全日程参加でき、受講後 eco-T のインタープリターとして活動する意欲のある成人</li> <li>●定員：抽せん 12 人</li> <li>●申込み 11月27日（日）までに、講座名、〒住所、氏名、電話番号、応募動機をハガキかファックス、Eメールで eco-T</li> </ul>
12/13のみ 9:30～14:30 それ以外はすべて 13:30～16:30	<p>※予告（企画調整中）</p> <p><b>エコットフォーラム2011</b></p> <p><b>「非電化ローカル化わかちあいで楽しく稼ぐ方法」</b></p> <p>エネルギーに依存しすぎない社会システムやライフスタイルを提唱している藤村靖之氏の講演会です</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●場所：豊田市福祉センター</li> <li>●定員：先着 150 人</li> <li>●申込み 11月5日（土）から、電話、ファックス、Eメールで eco-T</li> </ul>

「展示解説ボランティア育成講座」と「エコットフォーラム2011」のお問合せは「eco-T事務局」まで

TEL：0565-26-8058

## 会員のみなさま(2011年9月30日現在)

●正会員 石村正行さん、岩月桂子さん、河合志郎さん、栗野理絵さん、小泉達也さん、小泉由美さん、小泉洋子さん、後藤康江さん、坂本竜児さん、杉浦清美さん、田上治さん、谷口功さん、谷口陽子さん、種子田實郎さん、中川恵子さん、長嶋一枝さん、野武審さん、萩原喜之さん、福岡陽子さん、松浦貴子さん、南谷五郎さん

●賛助会員 青山克巳さん、赤坂洋子さん、芦辺由岐子さん、栗津銀治さん、板倉三枝子さん、井藤伸比古さん、奥村紀美さん、落合ひろ恵さん、神谷ゆう子さん、後藤美代子さん、坂口明子さん、澤田高和さん、山東光子さん、種子田雅子さん、長谷川広一さん、伴在慶一郎さん、本多慶子さん、本田昭二さん、宮島芳枝さん、村井孝一さん、村松里子さん、安宮勝之さん、山中由紀さん、吉田香さん、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会



**入会&継続  
ありがとう  
ございました!**

**現在の会員数は  
45名、1団体です**

### 会員募集中(随時受付)

あなたもエコ人メンバーになりませんか?

正会員 10,000円(議決権あり)

賛助会員 一般 1,000円/口

学生 500円/口

営利団体 10,000円/口

非営利団体 3,000円/口

## 編集後記

私事ですが、今年6月から本格的に農業の研修をしています。そのためか最近、天気を気にする癖がついてきました。天気といえば、今年は何度も台風が襲来し、その度に「緑のカーテン」の上げ降ろしに追われました。手伝ってくださったみなさん、ありがとう。ほんっとに助かりました!(小泉た)

### 発行・編集 ひと NPO法人 とよたエコ人プロジェクト

FAX 0565-42-2805

2011年10月発行

メール info@t-ecobito.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/eco-bito/> ←緑のカーテンの様子など

連絡先 TEL(スタッフ勤務先) 0565-26-8058

【豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)】

エコットのホームページ <http://www.eco-toyota.com/>

私たちは豊田市から委託を受けて、環境学習施設eco-T(エコット)を運営しています